



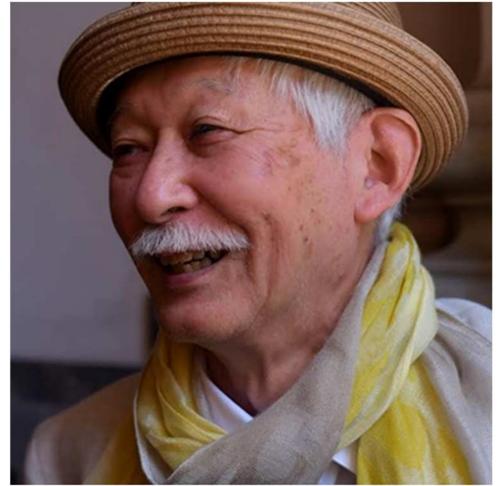
第176回からつ塾

カズオ・イシグロと日本の戦後

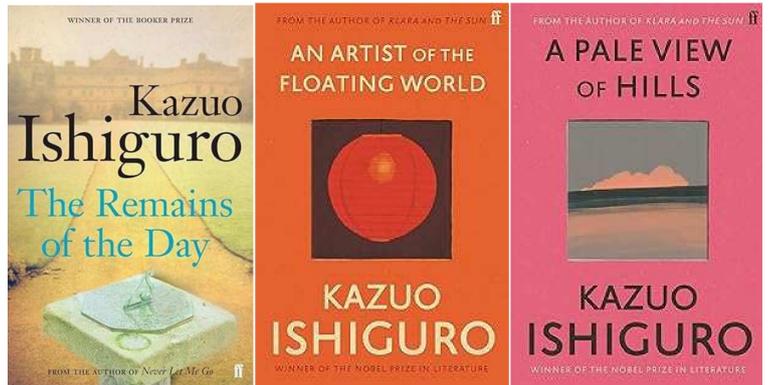
おおしまひとし

講師：大嶋仁氏(福岡大学名誉教授)

講師プロフィール：1948年生まれ。東京大学大学院博士課程(比較文学比較文化)修了後、静岡大学、バルセロナ自治大学、ペルー＝カトリック大学、ブエノスアイレス大学、パリ国立東洋言語文化学院で教鞭をとったあと、福岡大学教授(1995-2016)となる。現在は福岡大学名誉教授。主に比較文化的観点からの日本思想史、科学と文学の関係について研究している。最近の著書として、『科学と詩の架橋』(石風社 2022)『生きた言語とは何か 思考停止への警鐘』(弦書房 2023)『石を巡り、石を考える』(石風社 2023)『森を見よ、そして木を』(弦書房 2025)『日本文化は絶滅するのか』(新潮社 2025)『森を見よ、そして木を 科学者ゲーテの眼力』(弦書房 2025)などがある。



講義概要：両親は日本人で長崎生まれのカズオ・イシグロは6歳の時にイギリスに渡り、その後ずっと彼の地で過ごし、イギリス国籍を取得した異色の作家である。彼の多くの作品は「過去とどう折り合いをつけるか」という問題を扱っており、その丁寧なアプローチの仕方と場面構成の妙によって、2017年のノーベル文学賞を受賞している。今回の講義は彼が「日本の戦後」をテーマとした初期3作品、すなわち『遠い山なみの光』(1980)『浮世の画家』(1984)『日の名残り』(1986)を追うことで、彼の文学が「日本人には見えない日本」を描いていることを指摘し、その点を掘り下げることでこの文学がもつ未来性、すなわち将来の日本人にとっての重要性を明らかにしたいと思う。



日時：令和8年3月7日(土) 15:00～17:00

会場：唐津ビジネスカレッジ (JR東唐津駅北側、徒歩1分)

参加費：1,000円(学生500円、中学生以下無料)



ホームページ

ホームページ、Facebook等で情報発信しています。「からつ塾」で検索してください。

協賛：唐津信用金庫 唐津土建工業(株) (株)唐津プレジジョン (株)まいづる百貨店 宮島醤油(株)

助成：公益財団法人 金子財団 後援：唐津市 唐津市教育委員会 佐賀新聞社

